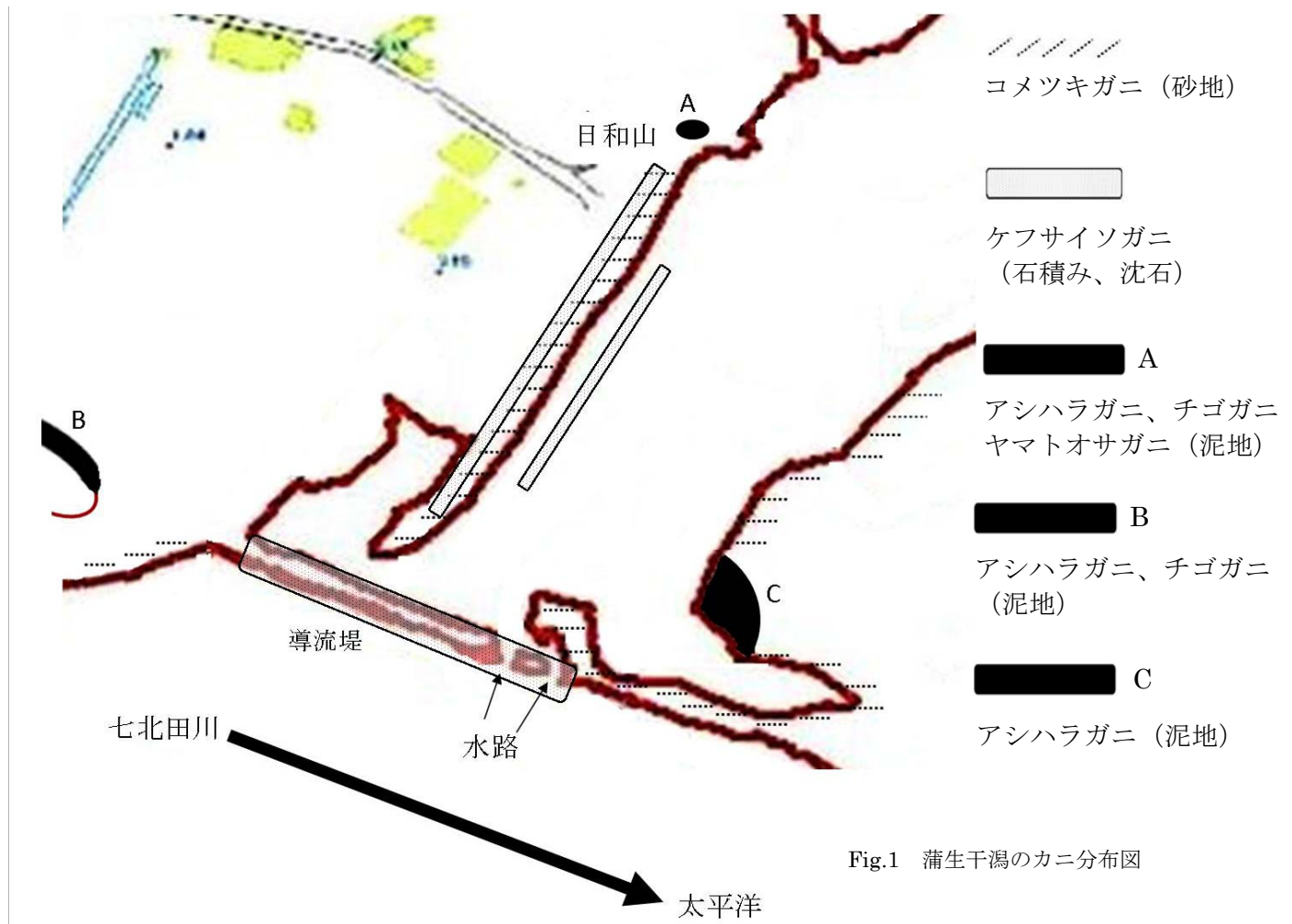


## 蒲生干潟のカニ分布図

### ■ 蒲生干潟におけるカニの分布

これまでの調査による蒲生干潟におけるカニの分布をFig. 1にまとめた。なお干潟の地形図は仙台市科学館地学担当の菊池が作成した2012年9月のものを使用した。



- ・現在の蒲生干潟は砂地の部分が多く、コメツキガニが広く分布している。地盤が沈下したことにより以前は陸地だった地域にも砂が堆積し分布域が広がっている。
- ・石積みの部分にはケフサイソガニが分布するが、特に導流堤には大型の個体が多く見られる。
- ・Fig. 1の黒塗り部分は泥地である。アシハラガニはA, B, Cに分布するが、チゴガニはA, BにヤマトオサガニはAにのみ分布する。
- ・隣接するクロマツ林に分布していたアカテガニとクロベンケイガニは確認できなかった。なお、昨年クロベンケイガニは2匹確認している。